

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	5-6
PDCA	主要事業名	市民交流センター管理運営事業	部課名	企画部市民協働課	担当	天野	
					内線	32-3430	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 1 - 3 単位施策： 市民活動					
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 156,554 千円					
	会計		一般会計		歳出科目 02.01.11.02.01	
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円					
	事業概要等	事業概要： ボランティア、市民活動の総合窓口である「はんだまちづくりひろば」と駅前という好立地を活かした貸館の「市民交流プラザ」、地域全体で子育てを支援する拠点としての「子育て支援センター」などの総合施設として、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点をを目指す。				
		事業目的： 団体貸出用の備品の購入や印刷機器の借上げなどを行い、市民活動団体の活動支援をする。				
		事業内容： 知多半田駅前の好立地を生かし、ボランティア・市民活動の情報発信や交流の場としての機能を充実し、活気ある市民交流の拠点をを目指す。				
		問題点・課題等： 経年劣化により、空調機器やロールカーテンなどの設備の故障の頻度が多くなっているため、予期せぬ設備の不具合に備える必要がある。				
	予算額	主要事業とする理由				
	156,554 千円	市民交流の場として、センターの設備・機能充実を図ることで、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点とするため。				
財源内訳	得られる成果					
市費	市民交流センターの設備や利便性が向上し、情報発信・交流の場としての機能が充実することで、ボランティア・市民活動団体活動のさらなる活性化につながる。					
35,893 千円	目標値や目指すべき状態					
国費			令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
0 千円	市民交流センター内貸室利用率	実績値	59.7	46.3	—	%
県費		目標値	65.0	65.0	65.0	%
		実績値				
		目標値				
	その他		実績値			
120,661 千円		目標値				

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果			
	37,823 千円	前年比でセンター開設日数が59日増え、利用件数も2,792件から599件増加し3,391件であった。貸室利用率の目標値達成には至らなかったものの、デジタルサイネージの利用や、コロナ禍においても感染予防対策をしたうえでの貸室を継続したこと、ボランティア・市民活動の情報発信や交流の場としての機能を果たした。			
		成果指標		令和3年度	単位
		市民交流センター内貸室利用率	実績値	46.7	%
			目標値	65.0	%

C 課題の整理	事業の評価・課題	C			
		コロナ禍で使用不可としていた交流スペースを令和3年12月から市民活動支援センター・子育て支援センター利用者の休憩等での一時利用や団体同士及び職員との打ち合わせ利用に提供することで交流の場としての機能を充実させた。また、カラー印刷機を刷新することでボランティア・市民活動の刊行物発行における利便性が向上し情報発信の場として機能の充実を図ることができた。商業フロアとの連携を一層強化することでさらなる利用を促進する。施設の不具合の早期発見のための定期的な点検に努める必要がある。			

A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進				
		交流スペースについて、利用状況をふまえ多様な主体が活用できるよう運用を見直し、施設機能の充実を図ることで、活気があり持続的な市民交流を促す。1・2階の商業フロアのイベントとの情報共有とデジタルサイネージ等を活用した観光情報やクラシティの情報発信を強化し、活気あるまちづくりの拠点とする。				
	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト 削減余地	ある	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	※対象・手段の変更 あり	
③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない		あり		

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用